

# アメリカ カリフォルニア大学リバーサイド校

[2017年11月～2018年2月分]

現代政策学部 2年 加藤 聖吾

みなさんこんにちは。

UCRに留学してから約10ヶ月が経ちました。あと残すところ2ヶ月になってしまいました。日本にいる時と時間の過ぎるスピードが大きく違い、まだアメリカに来て3～4ヶ月しか経っていない感じがします。リバーサイドはほとんど冬のような季節はなく、今の時期でも平均は20度くらいで、気温が高い日だと30度になる日もありますが、夜は平均で10度以下に落ちるので体調管理がとても難しいです。つい先週も気温の落差が激しく私は風邪をひいてしまいました。日本では体験したことのない頭痛に襲われ、一日ベッドで寝たきりでした。アメリカの風邪は、症状が一か所に強く現れるのでとても辛いです。みなさんもぜひアメリカに来る際は、日本のお薬を忘れずに…。



## 最近の出来事

さて前の学期が12月の前半に終わり、1ヶ月ほどの冬休みがありました。私は、その休みを利用しコロラド州のデンバーとベイルいうところに行ってきました。なぜ行ったかという二つ理由があり一つ目は、前の学期で友達になったクラスメイトがインターンシップでコロラド州に行ってしまったので会いに行ったのと、二つ目は、ベイルでスノボがしたかったという単純な理由で行きました。アメリカは、行きたい州が遠くても比較的飛行機が安く取れるのでアクセスはとていいのですが、目的地についてから車が無い場合は莫大な移動費がかかるので、そこは一つネックだなと日本と比べて思いました。デンバーに着くとLAとは景色が全然違い、違う国に来たイメージでした。デンバーはとても長閑かなところで、これぞアメリカの田舎という場所でした。私がこの旅行で一番驚いたところはアメリカのリフト代の高さです。日本では5000円~6000円が相場ですがなんと一万円越えでとてもびっくりしました。もう2度とアメリカでは滑りたくないと思いましたが、私たちは最近アメリカで流行っているAIRBNBというホテルではなく家を借りるアプリで予約したのでそこで予算が抑えられました。また、旅行仲間でカレーを作ったりして、楽しいひと時を過ごせました。日本にいた時は、ほとんど旅の予定などを自分で立てたことがなかったのですが、アメリカに来ると友達以外頼れる人がいないので、みんなで旅行予定を作ったり分担したりして、自分の中ではそのような流れに興味を持ち将来観光系の職業も良いのではないかと興味が湧いて来ました。このように自国を離れると色々なことを自分でやらないといけなくなり、そこから自分の得意不得意などに気づくことができるのも留学の醍醐味だと感じました。



## 授業

そして1月8日から最後の学期が始まりました。今回は通常のコースには進まず EMC(English Through Media and Communication) というコースを選択しました。選択した理由は、最後の学期になるので英語で英語を学ぶのも自分の為になるのですが、英語で何かを学んでみたかったので EMC コースを選択しました。新しいコースでは、文法は通常のクラスとやることは変わらないのですが、リーディング、ライティングでは実際にインターネットに掲載されている記事を先生が持って来てそれについて読み取りを行ったり、時にはディスカッションをしたりしていきます。またディスカッションとなると自分の経験してきたことや体験したことを話すのとは違い、もっとメディアに関係している専門用語とかも出て来るので時に混乱することがあります。やはりその部分が通常のクラスとは違うところだなと思いました。しかしメディアやソーシャルネットワークについては、現代を生きて行く上で切っても切り離せない物なので EMC コースを選択して良かったと思いました。



## 最後に

これで私の留学だよりのレポートが最後となります。留学に来てみると、自分は今本当にたくさんの人の力を借りて生きていることをすごく実感します。自分を支えていただいた全ての方に感謝の気持ちを忘れず次は誰かを助け、支える側に回れたらいいなと思います。今回は私の生活日記の様になってしまいましたが、もし将来 UCR に留学する機会があれば是非参考にしてみてください。貴重な時間を割き、お読みくださいましてありがとうございます。